

【高橋館長からのメッセージ】

こんにちは。梅雨の季節がやってまいりました。恵みの雨とも言いますが、それでも雨が長く憂鬱な気分になりますね。さて、皆様にご不便をお掛けしております館内の映像ホールと情報ギャラリーの改修工事ですが、7月中にご利用を頂けることとなりました。又、公園各所でも整備工事が行われ、園路利用などご不便をお掛けしております。工事を経て素敵な公園へと生まれ変わりますので、今しばらくお待ちくださいませ。宜しくお願いいたします。

夢の島公園は、2020年のオリンピック・パラリンピックのアーチェリー会場の予定地です。私たちは、会場を夏花の景観で盛り上げようと考えています。2年後に向け、今年はトライアル植付けを実施します。現在植付けにご協力して頂ける企業や団体の皆様を募集しております。植付け予定日時は7月4日(水)と、6日(金)の10:00~12:00です。

御希望の方は、夢の島熱帯植物館事務所へご連絡くださいませ。(募集締め切り6月22日)

館長 高橋 将



季節イベントの紹介 (イベント・展示担当：関)

梅雨時期はお出かけも少しだけ面倒になってしまいますね。植物館ではそんな気持ちを一新していただくために、気分もスッキリ、香りも楽しい「ハーブ展」を展開しています。フレッシュからドライまでご用意しました。ちょっと晴れ間がのぞいたら前庭のハーブ園にも足を運んでみてください！スタッフ一同、皆さまのご来館心よりお待ちしております。

- 【6月の企画展】 「素敵な暮らし ハーブ展」 (5/15~6/24)
 「夢の島西アフリカフェスタ」 (6/26~7/16)
- 《季節イベント》 「ウィークエンドコンサート」 (6/2,16)
 「ハーブの学校」(6/3) 「森の学校」(6/9)
 「父の日にオリジナルうちわ&風鈴づくり」予約制 (6/17)
 「熱帯大温室で空中散歩体験」予約制 (6/9,10)
 「ニホンミツバチの家に色を塗ろう！」予約制 (6/23)
 「染めもの教室」予約制(6/24) 「アフリカミニ鉢プレゼント」(6/30)

★詳しくはイベントチラシで。または夢の島熱帯植物館にお問い合わせください。

館内で見られる植物の紹介 (植物館植栽担当)

メディナラ・マグニフィカは、約150種あるメディナラ属の中でも花、葉とも最も美しい種と言われています。また高温多湿を好み、耐寒性も低いことから温室展示に適した植物と言えるでしょう。原産地はフィリピンで、日本には昭和38年ごろに渡ってきました。

高さ1.5メートル位になる常緑小高木で、よく枝分かれして茂ります。葉は大きくて、やや垂れ気味につき、表面は革質で濃緑色、そこに3本の淡緑色の葉脈がはっきりと入っていて、見応えがあります。また茎の先端ははじめ淡緑色をしていて、角ばっています。その部分が老化してくると褐色になり、ヒビ割れてかたく木質化してゆきます。このヒビ割れや大きな葉も迫力があり、メディナラ・マグニフィカがもつ観葉植物としての魅力の一つだと思います。

花は、枝先から房状に下垂してつきます。花序の長さは30センチほどです。紫がかったピンク色の傘のように見えるのは苞で長さ10センチくらい、その下にあるブドウのようなものが蕾です。やがて2センチくらいの大きさで、ピンク色の花が開きます。さらに雄しべの葯部分が淡い青紫、雄しべの軸部分(花糸)は黄色とカラフルでとてもきれいです。

開花は夏ごろが一般的ですが、ここでは5~6月に花が見られます。長く咲き続けることも、観賞価値が高い一因です。

当館では大温室の他、鉢物を栽培温室で育成し、花芽が出てから展示しています。



メディナラ・マグニフィカ (ノボタン科)

花のアップ



今月の花と果実



▲ サンゴシトウ



▲ マルバディゴ

♪この時期のお花たち♪

館前庭では「サンゴシトウ」や「ベニゴウカン」が開花中。6月に入ると「マルバディゴ」も仲間入り。大きなカナリーヤシの元、様々な形状の赤花をつけた植物の競演は、海外旅行の気分が味わえるほど、見応えがあります。

【サンゴシトウ】
 カフェ無料
 6/1~6/30

予告：次回は6/25の発行予定です。